

未来への地図

(株)ハルシステム設計

経営情報システムコンサルタント 佐藤 士朗

原価管理がでない理由①

これまで原価管理といえは発注・支払いを中心とした伝票主体の事務処理の一つでしかなかったものが、基幹システムとしての原価管理と情報分析としての現場中心型原価管理とを区別し、関心は現場の損益状況を日々の単位で管理できる日報型のものへと変わろうとしてきているのです。

工費削減、労務単価の下落により工事発注の下落により工事発注

原価管理 ⑩

1 現場からの利益の大切さ

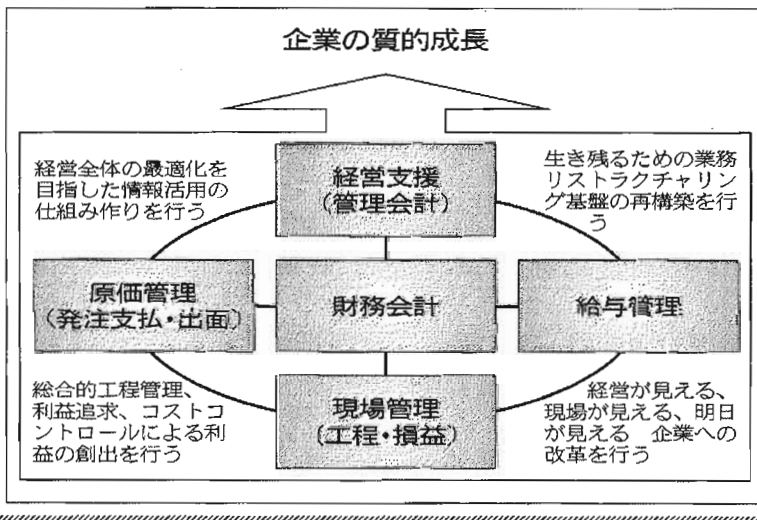
企業利益へ直結

管理の持つ考え方に、よく似たものとなっていきます。ABCという特殊環境がシステムになじまないためでもありません。つまりシステムの下落により工事発注の下落により工事発注

歩掛という考え方で表され、それを基準として予算の組み立てと実績管理を行っていきいます。間接費についてはまさに同一の考え方といってもいいかもしれません。現場の管理にこの考え方が必要となつていますが、未だ会計で言う損益計算書的なサマリーで終始してしまっているものも多いのが実情です。

もう一つの課題は現場の損益管理がうまく行われたとしても、その結果がどのよう企業に生かされるかという点にありまます。ERP的な発想で現場と

ないかと思ひます。つまり、現場ががんばって原価管理を行って、企業運営に現場の損益管理が直結されるか？という点にありまます。この利益という部分解釈の中では、現場で得た利益は中間で一般管理費などを差し引かれたとしても、当然企業利益へ直結します。しかし、ここでいう直結とは企業運営、生き残り施策との直結なのです。



場の利益が必ずしも企業運営のためのキャッシュに結びついていないことが理解できると思ひます。

基幹システムとしての原価管理で利益が出

県が建設業支援チーム設置

新分野進出等に助言

県は「建設業経営革新・新分野進出支援チーム」を設置したことを明らかにした。支援チームは県の担当者のほか、関係機関、建設業関係者らで構成され、建設業者の経営革新・新分野進出の課題にスムーズに対応できる体制を整え、抱える課題への助言や情報提供などを行う。

建設業経営革新・新分野進出支援チームは、政府系金融機関、商工団体、建設業協会、県の各部等の実務者で構成。業務の概要として①経営革新等に対する助言に關する②経営革新に關する情報の収集、提供に關する③関係する機関、団体との連絡調整に關する④窓口は県土木部、建設業界においては、経営

「認証かごしま材」取扱店 13日から募集へ

今年8月に「認証かごしま材」取扱店の認証制度を創設した県木造住宅推進協議会(川上道夫会長)は13日から、製材業や木材販売業・プレカット加工業・住宅建築業を「認証かごしま材」取扱店として募集を開始する。

(11面に基準内容を掲載) 取扱店の認証を受けた場合、①「認証かごしま材」の優先使用が可能②協議会が取扱店として県民へPRするなどのメリットがある。

14日に奉仕作業

県造園建設業協会(丸山重之会長)は14日午前9時から、鹿児島市の市立美術館内(西郷隆盛銅像)と市吉野町の西郷隆盛の家の2カ所で樹木選定並びに清掃等の奉仕作業を実施する。

21日、建築文化賞を発表

鹿児島市は21日午前9時30分から、第8回同市建築文化賞の発表を行う。

鹿児島市 名越郁郎氏(県電設事業協同組合専務理事) 本社来訪

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴所一時雨	南東やや強く	10% 20%
大隅	晴のち曇夜雨	南東	20% 40%
種子屋久	晴所一時雨	南東やや強く	10% 20%
奄美	曇所一時雨	南東やや強く	20% 10%

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

鹿児島・種子・屋久地方				奄美地方			
日曜	天気	降水確率	気温	日曜	天気	降水確率	気温
12	晴時々曇	20%	30°/25°	12	晴時々曇	20%	30°/25°
13	晴時々曇	20%	32°/24°	13	晴時々曇	20%	31°/25°
14	晴時々曇	20%	32°/24°	14	晴時々曇	20%	31°/24°
15	晴時々曇	20%	32°/24°	15	晴時々曇	20%	31°/24°
16	晴時々曇	20%	31°/24°	16	晴時々曇	20%	31°/25°

《概況》向こう一週間は、期間の初めは南からの湿った空気の影響で曇りや雨の降る所があるが、その後は高気圧に覆われて晴れる。

SPACE HOUSE が鹿児島に新登場

簡単、スピーディーな作業
・安全性、快適性を重視
・コンセント、照明・換気扇付
・運搬時のコストダウン化

ハウス事業部

鹿児島支店
鹿児島市永吉町(アリーナ近く)
☎ (099) 250-5060
FAX (099) 285-5999

販売・リース 県下総代理店
串木野支店
串木野市さつま山(R3号線沿)
☎ (0996) 32-2839
FAX (0996) 32-4156

中央仮設株式会社
☎ (099) 229-5900

「かごしま材取扱店」になるための認証基準

(表－１)

業種区分		基準内容
木材関連業	製材業	ア 認証工場であること イ 県林材協会連合会の所属員であること
	木材販売業	ア 年間取扱量が1,000㎡以上であること イ 県林材協会連合会の所属員であること
	プレカット加工業	ア 県内向けの年間加工棟数が100棟以上であること イ (財)日本住宅・木材技術センターが認証するA Q認証を受けた工場であること ウ 県林材協会連合会の所属員であること
住宅建築業		ア 建築棟数が直近の３年間で10棟以上あること イ 直近の５年間で建築基準法、宅地建物取引業法及び建設業法等の法令違反がないこと ウ 次のいずれかに該当する技術者を１名以上有していること ・木造軸組工法の実務経験10年以上 ・建築士で木造軸組工法の実務経験５年以上 ・技能士（建築大工）で木造軸組工法の実務経験５年以上 エ かごしま材取扱店を対象にした講習会を技術者が受講していること。または、直近の講習会を受講する旨の誓約ができること オ かごしま材取扱工務店倫理憲章を遵守できること

(表－２)

業種区分	基準内容
協 業 体	・協業体で過去３年間で10棟以上の木造住宅の建築実績があること。ただし、複数の住宅建築業（工務店など）がある場合は、過去３年間のうち１社あたり年間２棟以上の実績があること ・製材業、木材販売業、プレカット加工業については、林材協会の所属員であること ・住宅建築業については、表－１の住宅建築業のイからエまでの要件を満たすこと ・各社ごとに、かごしま材管理基準が設定されていること ・かごしま材の家づくりに関する規則があること ・認証工場との協定書が締結されていること（認証工場が構成員になる場合を除く）